

2019年度 第1四半期 決算補足資料

2019年8月5日



2019年度 第1四半期決算のポイント

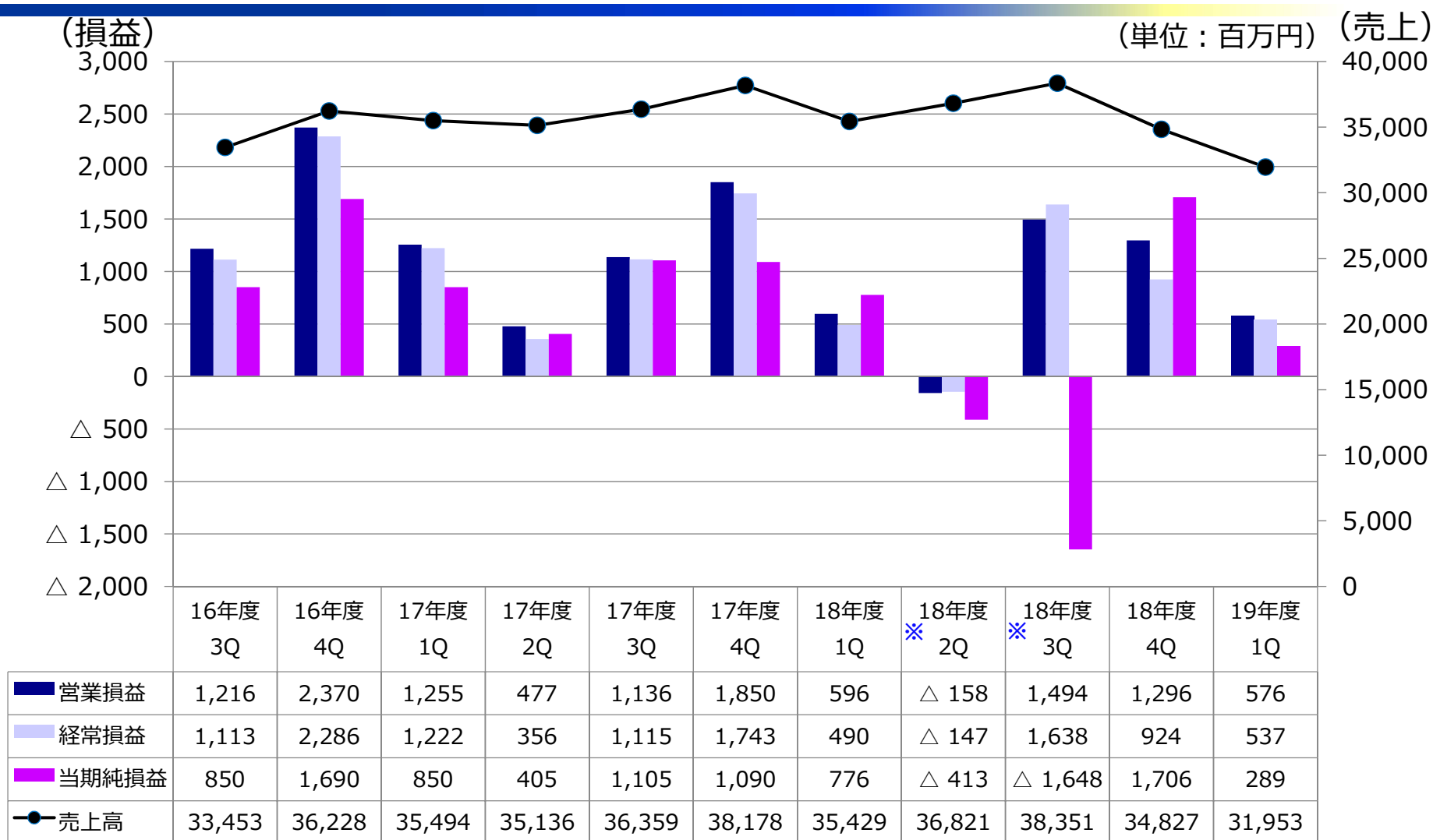
(単位：百万円)

	2018年度 第1四半期 (利益率)		2019年度 第1四半期 (利益率)		前期比増減	
売上高	35,429	—	31,953	—	△3,476	△9.8%
営業利益	596	(1.7%)	576	(1.8%)	△20	△3.4%
経常利益	490	(1.4%)	537	(1.7%)	46	9.4%
当期純利益	776	(2.2%)	289	(0.9%)	△487	△62.7%
EPS (円)	30.00		11.19			

《全体感》

- 売上：自動車販売の減少及びアルミ地金市況の下落等により減収
- 営業利益：販売量の減少により減益となりましたが、利益率は前年並みの水準
- 経常利益：支払利息の減少及び為替の変動等により増益
- 当期純利益：前年同期は投資有価証券売却分の特別利益を計上
- EPS：当期純利益の減少により、EPSは11.19円/株

連結決算概要（四半期推移）



※ 18年度2Qは一時的な減価償却増、3Qは米国工場の減損影響あり

ダイカスト事業

(単位：百万円)

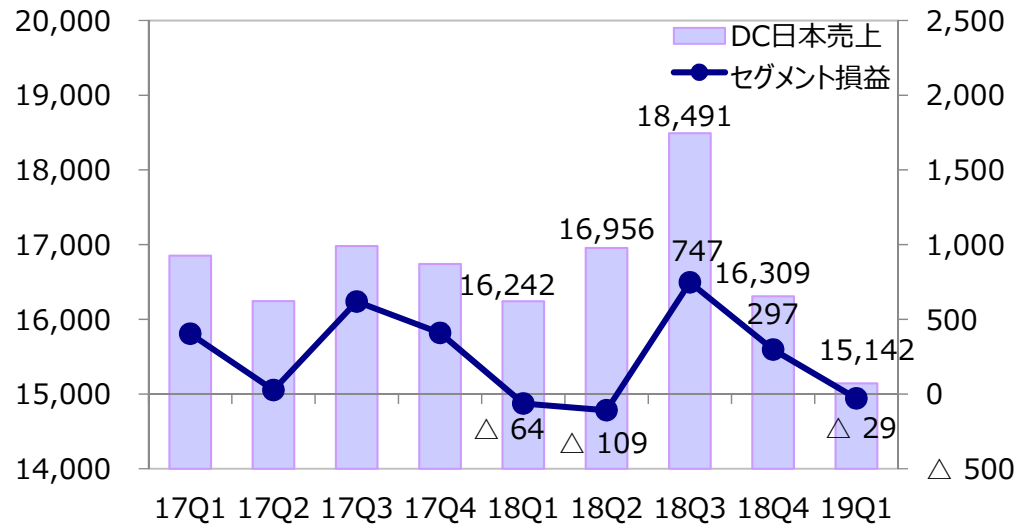
		2018年度 第1四半期 (利益率)		2019年度 第1四半期 (利益率)		前期比増減	
日本	売上高	16,242	—	15,142	—	△1,100	△6.8%
	セグメント損益	△64	—	△29	—	35	—
北米	売上高	10,489	—	9,029	—	△1,460	△13.9%
	セグメント損益	390	(3.7%)	462	(5.1%)	72	18.4%
アジア	売上高	7,220	—	5,810	—	△1,411	△19.5%
	セグメント損益	322	(4.5%)	△63	—	△385	—

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2018年度1Q：52.2% ⇒ 2019年度1Q：49.5%

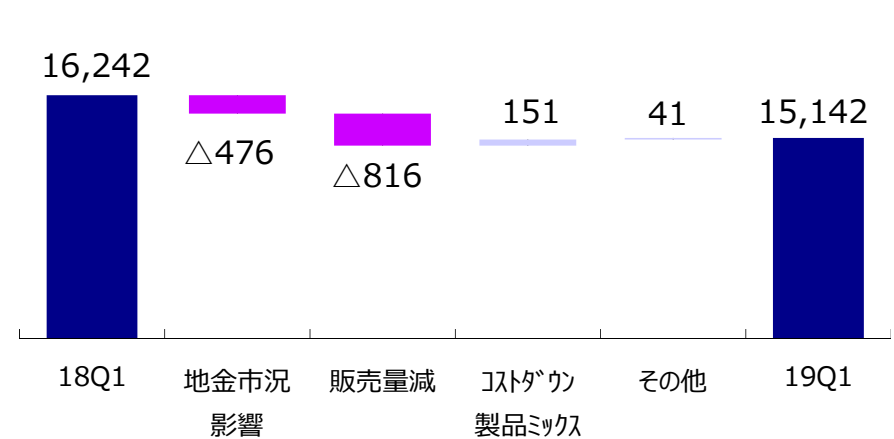
※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

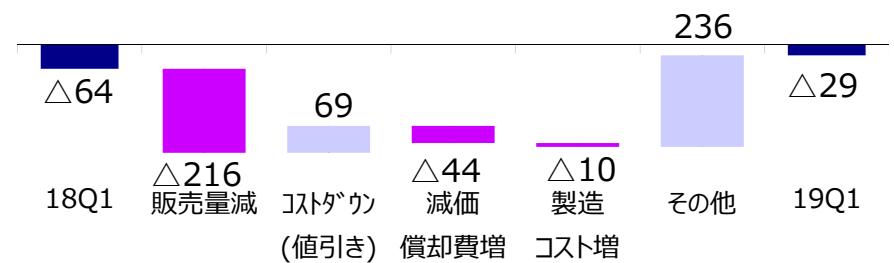
ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



売上：11.0億円減（前期比6.8%減）

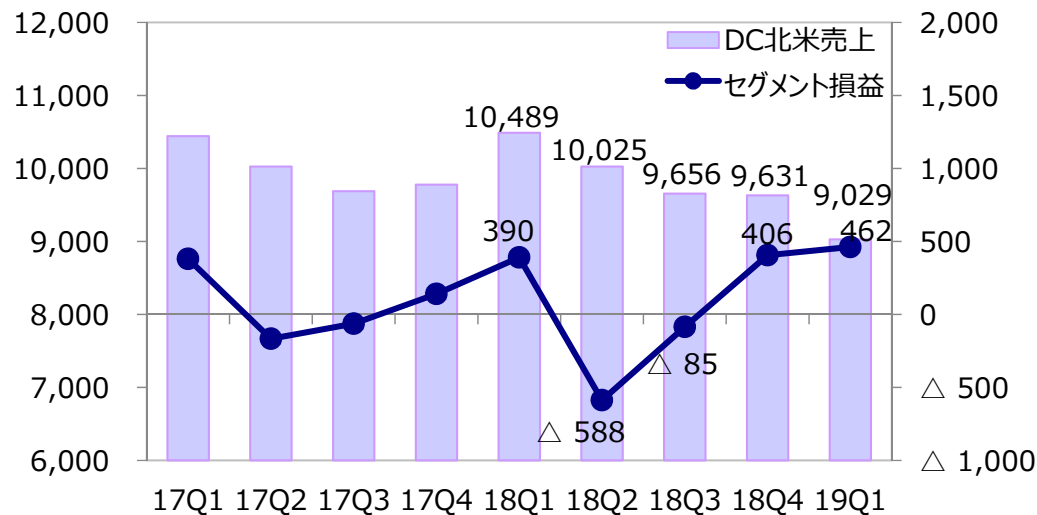
- 取引先の生産調整の影響等により販売量が減少
- アルミ地金市況の変動影響等により減収

セグメント損益：0.3億円増（前期比増）

- 一部製品の生産調整による販売減が影響
- 販売減の中で損益は前年並みの水準

ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：14.6億円減（前期比13.9%減）

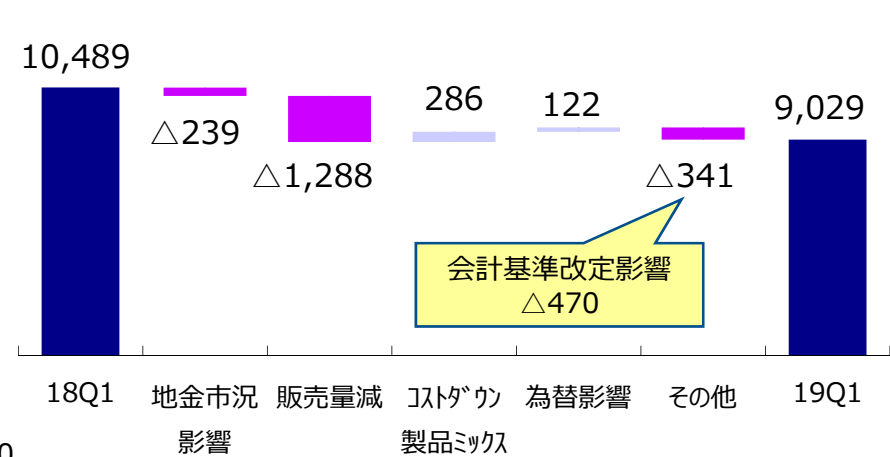
- 販売量は米国では前年並みも、メキシコは北米市場の販売低迷の影響を受け減収
- 会計基準改定の影響は4.7億円

セグメント損益：0.7億円増（前期比18.4%増）

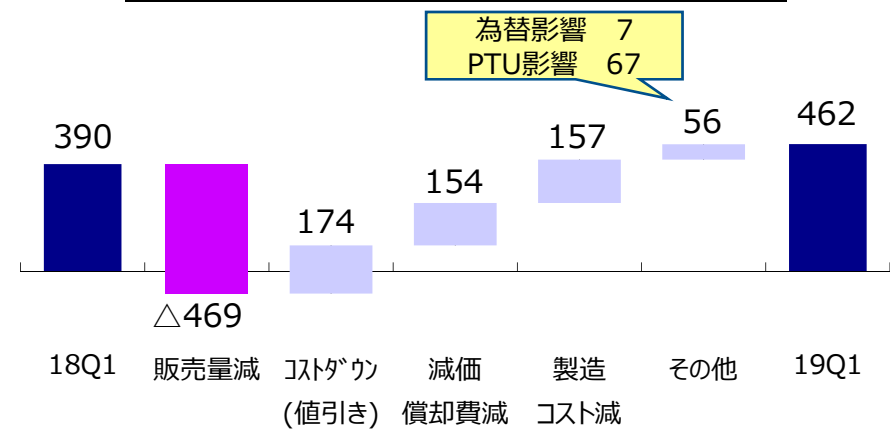
- メキシコでの販売減による影響あるが、生産性の改善と減価償却費の減少等により増益

決算期:アメリカ3月期、メキシコ12月期
 レート (18Q1⇒19Q1) アメリカ 108.72⇒110.06 メキシコ 108.89⇒110.51

売上高増減要因（単位：百万円）

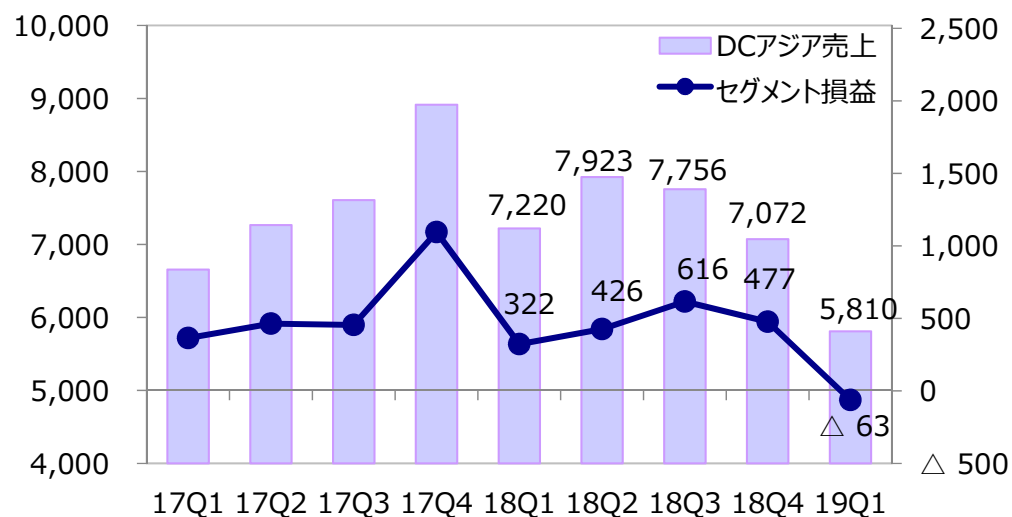


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



ダイカストアジア

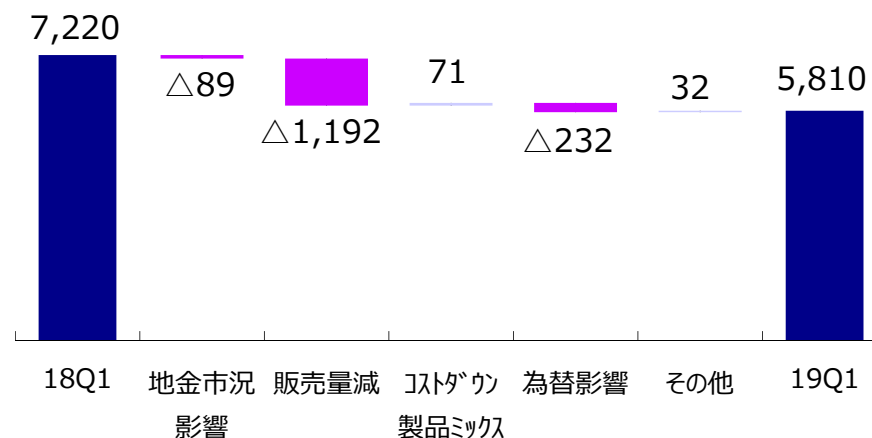
ダイカストアジア売上高/セグメント損益の推移 (単位: 百万円)



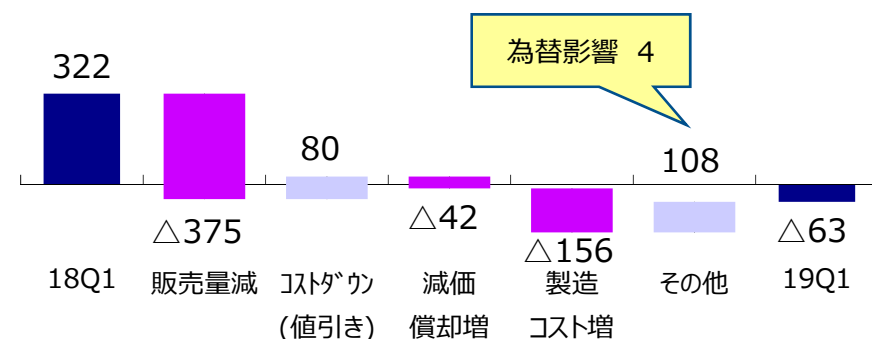
- 売上: 14.1億円減 (前期比19.5%減)**
- ▶ ローカルOEMを中心とした中国市場の減速により販売量が減少
 - ▶ インドも販売量の減少と為替影響等により減収
- セグメント損益: 3.8億円減 (前期比減)**
- ▶ 販売量の減少により減益

決算期: 中国12月期、インド3月期
 レート (18Q1⇒19Q1) 人民元 17.10⇒16.39 インドルピー 1.63⇒1.58

売上高増減要因 (単位: 百万円)



セグメント損益増減要因 (単位: 百万円)



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2018年度 第1四半期 (利益率)		2019年度 第1四半期 (利益率)		前期比増減	
アルミニウム 事業	売上高	1,186	—	1,025	—	△161	△13.6%
	セグメント損益	25	(2.1%)	67	(6.5%)	42	163.0%
完成品事業	売上高	289	—	945	—	656	226.1%
	セグメント損益	△15	—	48	(5.1%)	64	—

アルミニウム事業

- ▶ 売上：アルミ地金市況の変動等により販売単価が下がり減収
- ▶ セグメント損益：原材料の調達価格下落等により増益

完成品事業

- ▶ 売上：クリーンルーム物件やデータセンター向け物件の受注増により増収
- ▶ セグメント損益：売上の増加により増益



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664
E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com
URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。